



自ら立ち ともに 未来を拓く生徒

新川西中学校だより

令和7年度 12月号

12月25日(木)

通算 437号

HP アドレス : <https://www.shinkawanishi-j.sapporo-c.ed.jp/>

2学期を終えるに当たって 校長 相沢 克明

保護者及び地域の皆さま、日ごろから本校の教育推進に対し、ご理解・ご協力・ご支援をいただきありがとうございます。おかげさまで、本日（12月25日）、2学期終業式を迎え、明日からは20日間の冬休みに入ります。生徒はもとより、保護者及び地域の皆さまにおかれましても、この年末年始を穏やかに過ごされますことを心から祈っております。この場では、終業式の際に「2学期を終えるに当たって」と題し、私から生徒たちへ語りかけたメッセージの概要を共有させていただきます。

1 「自分の命はなぜ大切なのか？」から2学期はスタート

2学期の始業式では、命の大切さについて、「あなたの命はあなただけのものではない」という魔法の言葉についての話をしました。悩み多き中学生時代は、生きていくことが辛い時や、何もかもが嫌になる時がありますが、そんな時こそ、この魔法の言葉を思い出し、共に過ごす仲間同士、互いに助け合い、一步一步大人の階段を上る2学期にしようと呼びかけました。皆さんは、学校祭、合唱コンクール等、行事の多かった2学期の学校生活を満喫できましたか。実は、結構、お互いにぶつかり合うことがあったという人も多かったのではないのでしょうか。

2 なぜ、人はぶつかり合うのか？

では、なぜ人はぶつかり合ってしまうのかを考えてみましょう。例えば、いちごサンドを思い浮かべてみた時、図のように、それぞれ別のものをイメージしたとします。この時、一方が「私は絶対にこちらが正しい」と強く思いすぎると、つい「普通は、こちらがいちごサンド」なのに「あの人は普通じゃない、なんか変」となり、最悪、いじめにまで発展してしまうこともあります。どうも、ぶつかり合いに至る原因は「普通は…」という考え方にありそうです。

3 「普通」って何？

そこで次に、「普通」について考えてみます。一般に「普通とは、多くの人がそう思うこと」であり、多数派のことを普通と解釈していますが、実際には、その時々状況によって多数派は変わっていきます。自分が常に多数派であるとは限らないわけです。では、自分は「普通の人」ではないのでしょうか。

一方、「普通の人」とは「平均的な人」のことだとも言われています。この考え方によれば、テストで2人が15点、1人が90点の時、平均は40点なので、「40点をとるのが普通の人」となるはずですが、では、この3人の中に「普通の人」はいるのでしょうか…いない。そう、実は、誰一人として「普通」ではなく、それぞれ「普通、人は、みんな、それぞれ違う」ということに気づくと思います。

4 大切なことは「普通」ではなく、「みんなちがって、みんないい」

最後に、素敵な詩を皆さんに紹介します。私は、みんな違っていいからこそ、この世の中は素晴らしいのだと思います。どうか良い年をお迎えください。1月15日、3学期始業式で元気にお会いしましょう。

1 私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面（じべた）を速くは走れない。

2 私がからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。

『私と小鳥と鈴と』 金子みすゞ

受験への目標 3年 生徒代表

私は、野球に本気で取り組むため、親元を離れ群馬県の高校へ進学したいと考えています。その上で、私は、3年間勉強と野球を両立させながら行事にも積極的に取り組んできました。このように勉強面や生活面、気持ちの面を成長させながら、本番に向けた準備を進め、最後まで気を抜かず面接練習に取り組み、不安や焦りに流されずに、胸を張って本番に臨みたいと思います。受験当日までの少ない時間を大切に、自分を律しながら1日1日を積み重ね合格をつかみ取りたいです。

そして、1、2年生のみなさんとこれから受験を迎える3年生に伝えたいことを話します。まず、1、2年生のみなさん、中学校での時間は自分が思っている以上に早く過ぎていきます。私も気づいたときには、もう受験を迎える3年生になっていました。だからこそ、今の時間を当たり前だと思わず、毎日の授業や行事、友達との時間を大切にしてほしいです。そして、失敗を恐れずに色々なことに挑戦してください。沢山の経験が自信につながると思います。次に3年生のみなさん、先生方がよく言っていますが、受験は個人戦ではなく、団体戦ということです。全員が志望したところに行けるように、全員が全員をサポートしていきましょう。今は、勉強だったり大変なことや苦しいことが多いですが、今を全力で頑張り、春に良いスタートを切れるように学年全員で支え合っていきましょう。最後に、残りの中学校生活は3か月程しかないけれど、後悔しないように1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。

2学期のふりかえりと3学期に向けて 3年 生徒代表

2学期は色々な行事がありました。9月に新琴似中学校で、北区の特別支援学級の人たちと、にじいろ選手権で走ったり、投げたりしました。私は、選手宣誓をしました。新川西中学校の学校祭もありました。ステージ発表を見たり、7組の作業学習で作った製品を売ったりしました。私が行事の中で一番頑張ったのは、10月の合唱コンクールです。学年合唱曲の「フィンランディア」と7組の合唱曲「虹」を歌いました。私は、ソプラノで高い音を出せるように意識しました。虹を歌った時は、2年生の有志合唱団が手伝ってくれて、声が出やすくなりました。

また2学期は、進路を決めるために色々な高校に教育相談に行きました。緊張したけど、高校の先生に聞かれたことを大きな声で答えることを頑張りました。そして、12月の懇談で受検する高校を自分で決めました。受検は、3学期の1月30日にあります。面接とテストがあります。面接は、大きな声で答える練習、テストでは時間内に問題を解く練習をもっと頑張ります。私は、将来自分のことができるようになるために、高校では寄宿舎に入ろうと思っています。寄宿舎では、洗濯も自分でしなければならないので、今から洗濯物の回し方を覚えたいです。

3学期、無事に受検が終わったら、高校生になる準備と、7組の卒業お祝い会、卒業式の練習を頑張りたいです。

冬季休業中の連絡について

札幌市教育委員会では、全国的な課題となっている教職員の長時間勤務等への対応策として、冬休み期間中において、「冬季休校日」の取組を実施いたします。これに伴い本校では、12月29日（月）～1月3日（日）の「閉庁日」の他に1月5日（月）・1月6日（火）を「冬季休校日」とさせていただきます。この期間は、電話も「転送」となり、つながりませんので御了承願います。

冬季休業日の電話対応は、以下の通りです。（閉庁日・冬季休校日を除く）

★平日 8:20～16:50

なお、冬季休業中に、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症と診断された場合は、「すぐーる」より、ご連絡をお願いいたします。

